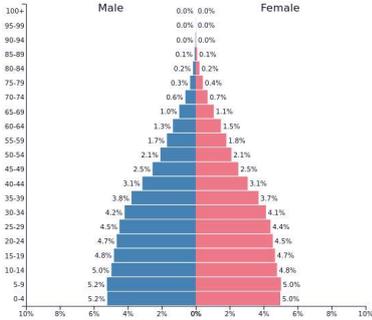
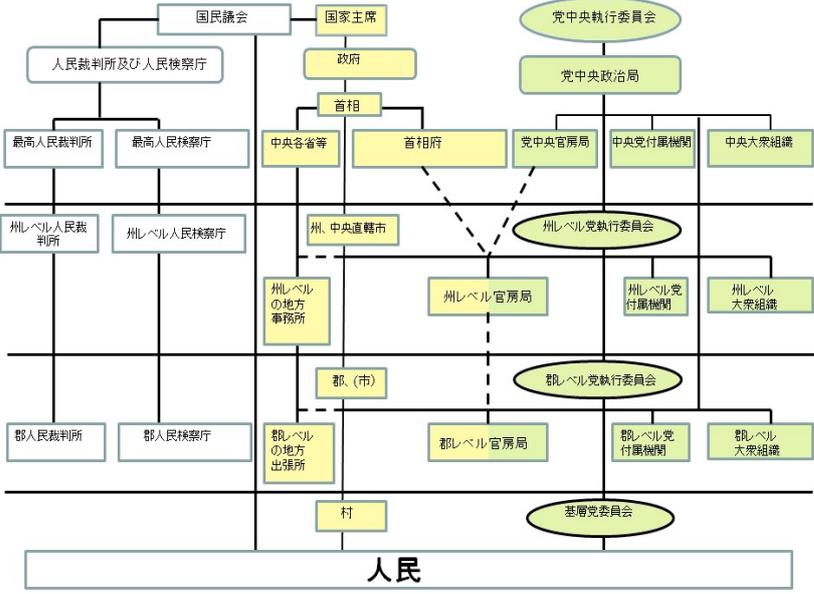
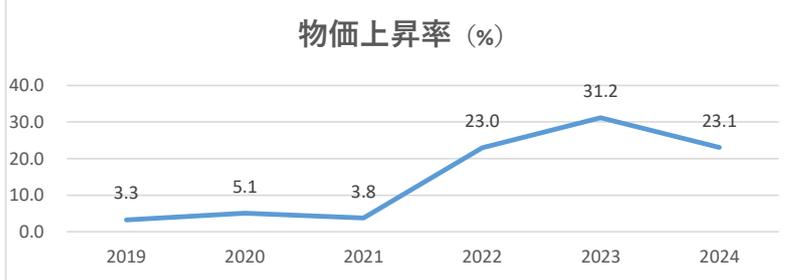




ラオスの概要

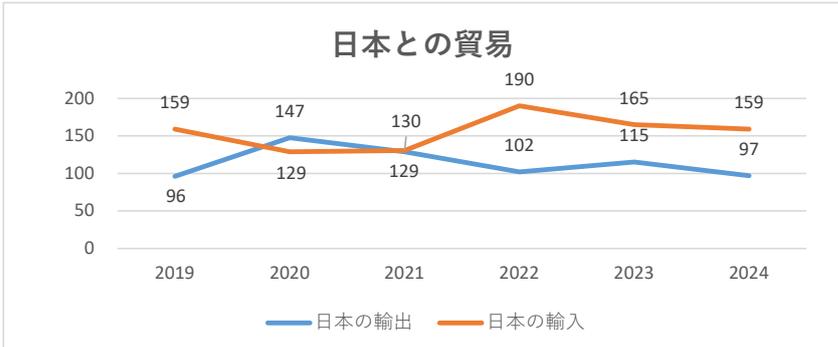
作成 クレアシンガポール事務所 更新日2025年4月

1. 国概要		出典	
正式名	ラオス人民民主共和国		
国旗	位置図		
		①	
面積	24万平方キロメートル	①	
首都	ビエンチャン	①	
人口	<p>約795万人 (2024年推定、出所: Central Intelligence Agency)</p> 	④ ⑤	
民族	ラオ族(全人口の約半数以上)を含む計50民族	①	
公用語	ラオス語	①	
宗教	仏教	①	
通貨(為替レート)	1キップ=約0.0070円(2025年4月)	⑥	
略史	1353年	ランサーン王国として統一	①
	1899年	フランスのインドシナ連邦に編入される	
	1949年	仏連合の枠内での独立	
	1953年10月	仏・ラオス条約により完全独立	
	1955年	日本・ラオス 外交関係設立	
	1973年2月	「ラオスにおける平和の回復及び民族和解に関する協定」が成立	
	1975年12月	ラオス人民民主共和国成立	
2025年3月	日本・ラオス外交樹立70周年		
政治			
政体	人民民主共和制	①	
元首	トンルン・シーシリット国家主席 (ラオス人民革命党書記長)	①	
議会	(1)議長名 サイソンポーン・ポムヴィハーン(党政治局員) (2)一院制(164名)	①	

政府	首相名 ソーンサイ・シーパンドン(党政治局員) 外相名 トンサワン・ポムヴィハーン(党中央委員)	①														
地方自治制度	 <p>・ラオスにおいては国、州、郡、村レベルにいたるまで行政府と対をなすように党組織が存在。国レベルでは党中央執行委員会、州レベルでは州レベル党執行委員会を設置。この党中央執行委員会が実際の政治決定を行う。</p> <p>・政府の役職を担う人物はほぼ党幹部であり、現在の国家主席は党書記も兼ねる。さらに国民議会の議員の圧倒的多数が人民革命党員であるといわれる。</p> <p>・建前上行政と党は分離しているがあらゆる面において重なる部分があり、実質1党独裁の政治体系と言える。</p> <p>・地方行政組織は、日本の自治体のように国から独立して地域内の自治権を行使することはできず、「中央政府による中央集権的な地方行政」が行われている。</p> <p>・州知事、州議会議長をはじめとする地方行政の首脳クラスはすべて中央からの任命によるもので、県知事の任命・罷免は首相の権限となっている。</p> <p>・地方政府は、中央政府の政策を国土の隅々にまで浸透させるという役割を負う組織という位置付けである。また、住民生活の向上や産業振興、各行政単位の住民福祉などに対し、責任を負う組織としての役割が期待されている。</p> <p>・より良い行政サービスのための行政職員の実績評価制度なども導入されており、地方行政においても行政運営の生産性と効率性が重要視されつつある。</p>	⑦														
経済																
主要産業	サービス業(GDPの約37%)、工業(約34%)、農業(約18%)、製品及び輸入に係る税(約11%) (2022年、ラオス統計局)	①														
実質経済成長率(%)	 <p style="text-align: center;">経済成長率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>成長率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>-0.4</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table>	年	成長率 (%)	2019	4.7	2020	-0.4	2021	2.1	2022	2.3	2023	3.7	2024	4.3	⑦
年	成長率 (%)															
2019	4.7															
2020	-0.4															
2021	2.1															
2022	2.3															
2023	3.7															
2024	4.3															
物価上昇率(%)	 <p style="text-align: center;">物価上昇率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>物価上昇率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>23.0</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>31.2</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>23.1</td> </tr> </tbody> </table>	年	物価上昇率 (%)	2019	3.3	2020	5.1	2021	3.8	2022	23.0	2023	31.2	2024	23.1	⑦
年	物価上昇率 (%)															
2019	3.3															
2020	5.1															
2021	3.8															
2022	23.0															
2023	31.2															
2024	23.1															

<p>名目GDP (一人当たりGDP) (USD)</p>		⑦
<p>失業率 (%)</p>		⑧
<p>総貿易額 (100万USD)</p>		⑦
<p>貿易品目</p>	<p>(1)輸出 電力(28.5%)、鉱物(30.5%)、農畜産物・食品(21.8%) など (2)輸入 化石燃料(18.4%)、農畜産物・食品(11.0%)、機械・電子機器および部品(18.0%) など ※日本貿易振興機構(ジェトロ)「ラオスの貿易投資年報」(公開日:2024年10月10日)より</p>	②
<p>主要貿易相手国</p>	<p>(1)輸出 タイ(34.5%)、中国(29.9%)、ベトナム(16.6%) (2)輸入 タイ(46.4%)、中国(33.3%)、ベトナム(4.9%) ※日本貿易振興機構(ジェトロ)「ラオスの貿易投資年報」(公開日:2024年10月10日)より</p>	②

2.日本とのかかわり		出典
大使館	ビエンチャン	③
大使	小泉 勉(2024年5月27日～)	③
進出企業数	110社(2024年5月現在)	②
日本企業の投資件数と投資額(製造業)	-	
在留邦人数	618人(2024年10月現在) 出所:外務省「海外在留邦人数調査統計」	①
在日ラオス人数	4,205人(2024年6月末現在)	⑨
観光		
訪日旅行者数	7,429人(2024年, 日本政府観光局)	⑩
旅行形態	-	

貿易		
日本との貿易 (通関ベース) (100万USD)		②
日本の主要輸出入品目	<p>(1)輸出 輸送用機器(38.3%)、一般機械(8.2%)、電気機器(5.6%)、飲料、アルコール、食酢(4.6%)、織物(3.4%)</p> <p>(2)輸入 木材・同製品(14.3%)、衣類・同付属品(布帛類)(13.8%)、電気機器(12.7%)、履物類(12.1%)、コーヒー、茶、香辛料(7.5%)</p> <p>出所: Global Trade Atlas、2023年</p>	②

3.その他渡航情報		出典
入出国	15日以上滞在はアライバルビザが必要	
旅券の残存期間	入国時にパスポートの残存有効期間が6ヶ月以上必要	
日本との時差	-2時間	
祝日(2025年)	1月1日 新年 3月8日 国際女性の日 3月8日 振替休日(国際女性の日) 4月14～16日 ラオス正月 5月1日 国際労働者の日(メーデー) 7月20日 女性同盟設立記念日 7月21日 振替休日(女性同盟設立記念日) 12月2日 建国記念日	②
予防接種の必要性	破傷風, 日本脳炎, A型肝炎, B型肝炎, 狂犬病, 麻しん, 腸チフス(日本では未承認)	
気候	熱帯性モンスーン気候	
電話の掛け方	国際電話会社の番号+856(国番号)+電話番号	
電力	電圧は220V。周波数は50Hz。アダプターが220Vに対応していない日本の電化製品を使うには変圧器が必要。プラグはA型とC型の複合型が一般的で、日本の電化製品(A型)に対応しているが、C型のみのコンセントもまれにあるため、アダプターが必要。	
飲用水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい。	
日本からのフライト時間	直行便なし。ベトナム又はバンコク経由で10時間程度。	

【出典】

- ① 外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofai/area/laos/data.html>
- ② JETRO HP <https://www.jetro.go.jp/world/asia/la/>
- ③ 在ラオス日本国大使館HP http://www.la.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ④ 国立社会保障・人口問題研究所 <https://populationpyramid.net>
- ⑤ CIA HP <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/laos/>
- ⑥ 日本銀行HP https://www.boj.or.jp/about/services/tame/tame_rate/svorei/hou2308.htm
- ⑦ IMF HP <https://www.imf.org/en/Countries/LAO>
- ⑧ 世界銀行HP <https://data.worldbank.org/indicator/SL.UEM.TOTL.ZS?locations=LA>
- ⑨ 法務省HP http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html
- ⑩ JNTO HP <https://statistics.into.go.jp/graph/#graph--trends--by--country>